

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	食生活改善推進員協議会活動費補助金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 017	■会計区分	国民健康保険特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	食生活改善推進員の資質の向上、及び活動の充実。専門部活動(企画部、給食部、生活部)、ヘルスサポーター21事業等で地域ぐるみの食生活改善活動を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01	食生活改善推進員協議会活動費補助金	食生活改善推進員協議会	専門部活動 企画部 6回 参加人数120人 給食部 3回 参加人数70人 生活部 6回 参加人数70人	専門部活動 企画部 6回 参加人数117人 給食部 4回 参加人数78人 生活部 6回 参加人数71人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	131	131	131	131	
人件費	1,888	1,756	1,760	1,713	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,019	1,887	1,891	1,844	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	専門部活動参加者数	738人	717人	635人	757人	のべ数 総会資料綴り、総会、委員会、ほかし作り、食品衛生講習会、芸能まつり、中部地域リーダー研修会、支部総会、ふれあいスポーツ大会、避難者支援事業、食育推進事業、栄養教室等専門部活動に係わる事業

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

03	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者の割合	98.1%	97.5%	96.3%	97.4%	食生活改善推進員になって役に立ったと思う者÷アンケートの提出者数×100
04	参加者1人あたりコスト	2,736円	2,632円	2,978円	2,435円	フルコスト÷専門部活動参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 食生活改善推進員の活動を円滑に進めるために順調に実施できている。	問題点・課題等 活動に関わることに負担金や三役手当を組み込んでおらず、内容の精査が必要である。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☒ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小